



報道関係各位

京都初！AI問診を導入～患者とより向き合える医療のために～

診察前にタブレットで自覚症状を入力、AIで問診を個別化・自動化。
医師の事務作業時間を短縮し働き方改革にも。

済生会京都府病院は、診療の質と患者満足の向上、医師の働き方改革推進を目的に、2019年12月13日（金）に京都府では初となるAI問診プロダクト「AI問診Ubie」（Ubie株式会社：東京都中央区提供）を導入します。



《AI問診 Ubieとは》

現役の医師が開発した“問診”に特化したAI問診プロダクト。約5万件の論文から抽出されたデータに基づき、AIが患者さん一人ひとりの症状や地域・年代に合わせた質問を自動で分析・生成します。患者さんは、受付で手渡されたタブレットから出てくる質問に沿ってタッチするだけ。入力データは即時、医療用語に変換されカルテに落とし込まれます。診察室でのスムーズな治療方針の決定をサポートし、待ち時間の短縮や対面での診察時間の増加を図ります。

超高齢社会が到来するといわれる2025年には、後期高齢者の人口は急増し若い世代の人口と労働力は減少傾向となる見込みで、医師や看護師不足が確実視されています。また、政府が進める働き方改革においては医師の長時間労働も大きな課題です。そのため、タスクシェア、タスクシフト、AI活用などによる医療従事者の負担軽減への取り組みを推進していかねばなりません。

今回、患者さんの「待ち時間の割りに診察時間が短い」といった不満や医師からの「電子カルテの記載に時間がかかる」「患者さんと向き合う時間がない」といった声に対応すべくAI問診Ubieを導入します。患者さんとより向き合える医療を目指し、医師の働き方改革を進め、医療の質の向上に取り組みます。

導入日：12月13日（金）

導入診療科：循環器内科 ※今後、各診療科に随時導入予定

本件に関する問い合わせ先

社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院

〒617-0814 京都府長岡京市今里南平尾8番地

電話 075-955-0111（代） FAX 075-954-8255 <https://kyoto.saiseikai.or.jp/>

《担当》経営企画課 企画広報室長 松岡志穂 《email》s.matsuoka@kyoto.saiseikai.or.jp



質の高い医療・思いやりの心・明るい職場 ～医療を通して地域に貢献～

済生会京都府病院